ひきじだい

令和６（2024）年２月２９日
弥生（３月）号

大和市立
引地台小学校

「一期一会」の卒業式、修了式に向けて

校長　箱崎　勝美

家々の満開の梅の花や花壇の水仙が良い香りを漂わせています。寒い寒いと思っていたら、いつしか春が近づいてきています。今年度も、残り一ヶ月となりました。学習のまとめを行い、新しい学年に向かって充実した一ヶ月にしたいと考えています。学年の最後を迎えるといつも考えることは、この１年間に子供達がどんな成長を遂げたかということです。

先日は、授業参観・懇談会に多くの保護者の方々がご出席くださり、感謝申し上げます。それぞれの学年の発表会で、「堂々と声を出して台詞を言っている姿」、また、クラスの授業の中で、「自分がまとめた内容を友だちに伝えている姿」「グループで考えた意見をまとめて発表する姿」などを見ることが出来て、子供達の一年間の成長をたくさん感じました。読んだり書いたりすることができなかった１年生が自由に文章を書いたり、できなかった計算ができるようになったりする姿を見ると、成長を実感します。また、いつの間にか大人の顔つきになって物事を考えたり、発表したりする６年生に、たのもしさを感じました。

新しい学年を迎えるこの時期は、学校としても一人ひとりの子供達の成長を見つめる節目となる大切な時期です。次年度に向け、更なる成長に期待しつつ、多くの目で子供達の様子を見て、指導することにより、一人ひとりがもっている能力が最大限に発揮できるように努めてまいります。

さて「一期一会」とう言葉があります。「一会」とは一度の出会いという意味です。この言葉は、茶道に由来する言葉で、「あなたとこうして会っている時間は、二度とは巡ってこない一度きりの大切な時間である。この一瞬を大切に思い、今できる最高のおもてなしをしましょう。」という意味です。再び訪れることがないこの時間を大切に過ごすことを教えてくれる言葉です。地球上には８０億４５００万人の人が暮らしていますが、卒業する６年生は、同じ学校になり、学級の仲間として出会い、一緒に６年間を過ごしました。これほど奇跡的な出会いはありません。これから残りの時間を大切に、お互いを尊重して、感謝の気持ちをもって、卒業式まで過ごして、ほしいです。そして、もうすぐ引地台小学校から、中学校に旅立ち、またそこでも、新しい出会いがあります。これからの人生の中で様々な出会いを大切にしてほしいと思います。

本年度は、卒業式の朝に１年生～４年生が、出席して対面で「お別れ式」が行われます。５年生は、在校生代表として６年生をお見送りするために、卒業式に出席します。

育てていただいた保護者の皆様、お世話になった地域の来賓の皆様、在校生の子供達など、たくさんの人達にお見送りされながらの卒業式になります。６年生は、仲間たちと笑顔で卒業してほしいと願っています。　そして、３月２５日（月）は、修了式です。１年生～５年生の子供達も、元気で３月２５日（月）の修了式を迎えられるように、願っています。３月もどうぞよろしくお願いいたします。

【３月１９日（火）卒業式当日について】

１年生～４年生の在校生が学校に登校して、６年生をお見送りする「お別れ式」があります。また、５年生は、登校して、在校生代表として、午前１０時から挙行される第４０回卒業式に出席します。

〇「お別れ式」１年生～４年生の在校生出席　通常登校
日時：３月１９日（火）午前8時30分～9時頃（下校：午前9時10分頃）
場所：校庭（雨天：教室）
〇「第４０回卒業式」５年生は、在校生代表として出席。通常登校
日時：３月１９日（火）
※通常登校して、学級活動の後、午前10時から挙行される卒業式に出席（下校：12時頃）